

平成 26 年 12 月 15 日

各位

公益社団法人日本産科婦人科学会  
理事長 小 西 郁 生  
医療改革委員会  
委員長 海 野 信 也

平成 26 年度「拡大医療改革委員会」兼  
「産婦人科医療改革 公開フォーラム」  
開催のお知らせ

謹啓、日本産科婦人科学会では、拡大医療改革委員会を、平成 26 年度厚生労働科学研究費補助金（厚生労働科学特別研究）「持続可能な周産期医療体制の構築のための研究」（研究代表者 海野信也）との共催で、公開フォーラムとして、以下の要領で開催することを企画いたしました。つきましては、各地域からのご出席を頂きたく存じます。ご多用の折とは存じますが、地域医療の危機的状況に鑑み、このような会を開催することの重要性はきわめて高いと思われまます。なにとぞご高配のほどお願い申し上げます。

謹白

記  
「拡大医療改革委員会」

日時： 平成 27 年 1 月 25 日（日曜）午後 1 時より 4 時まで

場所： ステーションコンファレンス東京 501A+B

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー 5F TEL 03-6888-8080（代表）

● テーマ「産婦人科医療改革グランドデザイン 2015（GD2015）の策定に向けて」

➤ 開催の目的

- ◆ 日本産科婦人科学会では、2010 年に「産婦人科医療改革グランドデザイン 2010（GD2010）」を策定、公表いたしました。その際、5 年後に再評価し、改定を行うこととしておりました。その後の 5 年間の経過は産婦人科医療現場にとって大変厳しいものであり、GD2010 が目指した方向性からはかなりはずれてしまっていると考えられます。今回の拡大医療改革委員会では、策定から 5 年が経過した GD2010 の再評価を行い、現状の課題を整理するとともに、改定案としての GD2015 案についての検討を行います。
- ◆ 平成 27 年度に厚生労働省の周産期医療体制整備指針の改定に向けての検討が、開始が予定されています。この機会に、厚生労働省特別研究班のメンバーとともに、わが国の周産期医療体制の課題、検討が必要な論点の整理を行います。

➤ 検討事項：

- 地域の新生児医療を含む周産期医療及び産婦人科医療現場の現状と地域の産婦人科医の養成状況
- 「産婦人科医療改革グランドデザイン 2010」の評価について
- 「産婦人科医療改革グランドデザイン 2015」案について

- 本拡大委員会は、厚生労働科研特別研究班との共催とし、同研究班が開催する「周産期医療体制に関する研究会（仮称）」との同時開催の公開フォーラムとして開催いたします。

- 本拡大委員会では、以下のような方にご出席をお願い致したいと考えております。

➤ 医療改革委員会委員

- 厚生労働科学研究費補助金（厚生労働科学特別研究）「持続可能な周産期医療体制の構築のための研究」研究分担者・研究協力者（新生児科医・助産師会・日本看護協会等（予定））
- 厚生労働省医政局救急・周産期医療等対策室担当者、厚生労働省雇用均等・児童家庭局担当者
- 都道府県の医療政策担当者（全都道府県に依頼予定）
- 都道府県産科婦人科学会、地域医師会、日本産婦人科医会等における産婦人科医療提供体制検討担当者
- 医局長等の各大学産婦人科教室の人事担当者
- この問題に関心のある会員
- 報道関係者を含む一般の方の傍聴・参加を歓迎する。

- 本拡大委員会は、公開フォーラムとして開催し、報道関係者ならびに一般の方の傍聴および討論への参加を許可する予定です。また本拡大委員会の記録は、動画形式で医療改革委員会が運営するホームページ「周産期医療の広場」<http://shusanki.org/event.html>に掲載する予定です。

- ・本拡大委員会は、一般会員に開放した形式で行います。
- ・報道関係者を含む一般の方の傍聴を歓迎します

\*当日ご出席をご希望の方は、平成27年1月23日（金）までに、下記までご連絡をお願いいたします。

公益社団法人日本産科婦人科学会 事務局宛

E-mail : [nissanfu@jsog.or.jp](mailto:nissanfu@jsog.or.jp)

FAX 03-5524-6911

以上